

# 2022年度 第1四半期決算

2022年7月28日

富士電機株式会社

1.	2022年度 実績(対前年)	P.	3
2.	2022年度 業績予想(対前年)	P.	12
3.	貸借対照表	P.	14
4.	補足資料	P.	16

# 1. 2022年度 実績 (対前年)

# 第1四半期 連結業績概要 (対前年)

売上高、営業損益、経常損益は過去最高を更新

(単位:億円)

	2021年度	2022年度	増減
売上高	1,900	2,039	140
営業損益 (営業利益率)	53 (2.8%)	99 (4.8%)	46 (2.1%)
経常損益	59	123	64
特別損益	22	42	20
税金等調整前 四半期純損益	81	165	84
法人税等	20	53	33
非支配株主に帰属する 四半期純損益	11	13	2
親会社株主に帰属する 四半期純損益	50	99	50

(期末レート:6月末)

(単位:円)

US\$	110.58	136.68	26.10
EURO	131.58	142.67	11.09
RMB	17.11	20.38	3.27

(平均為替レート)

(単位:円)

US\$	109.49	129.57	20.08
EURO	131.96	138.12	6.16
RMB	16.96	19.58	2.62

## 売上高増減

海外子会社の為替換算差による増収	+71
需要増	+69

## 営業損益増減

物量・生産増	+50
固定費増	-23
為替影響	+14
その他*	+4
	+46

\*コストダウン、価格変動、機種構成差等

## 営業外損益増減

金融収支	+4	( 9 → 13 )
為替差益	+15	( 1 → 16 )
その他	-0	( -4 → -4 )
	+18	( 6 → 24 )

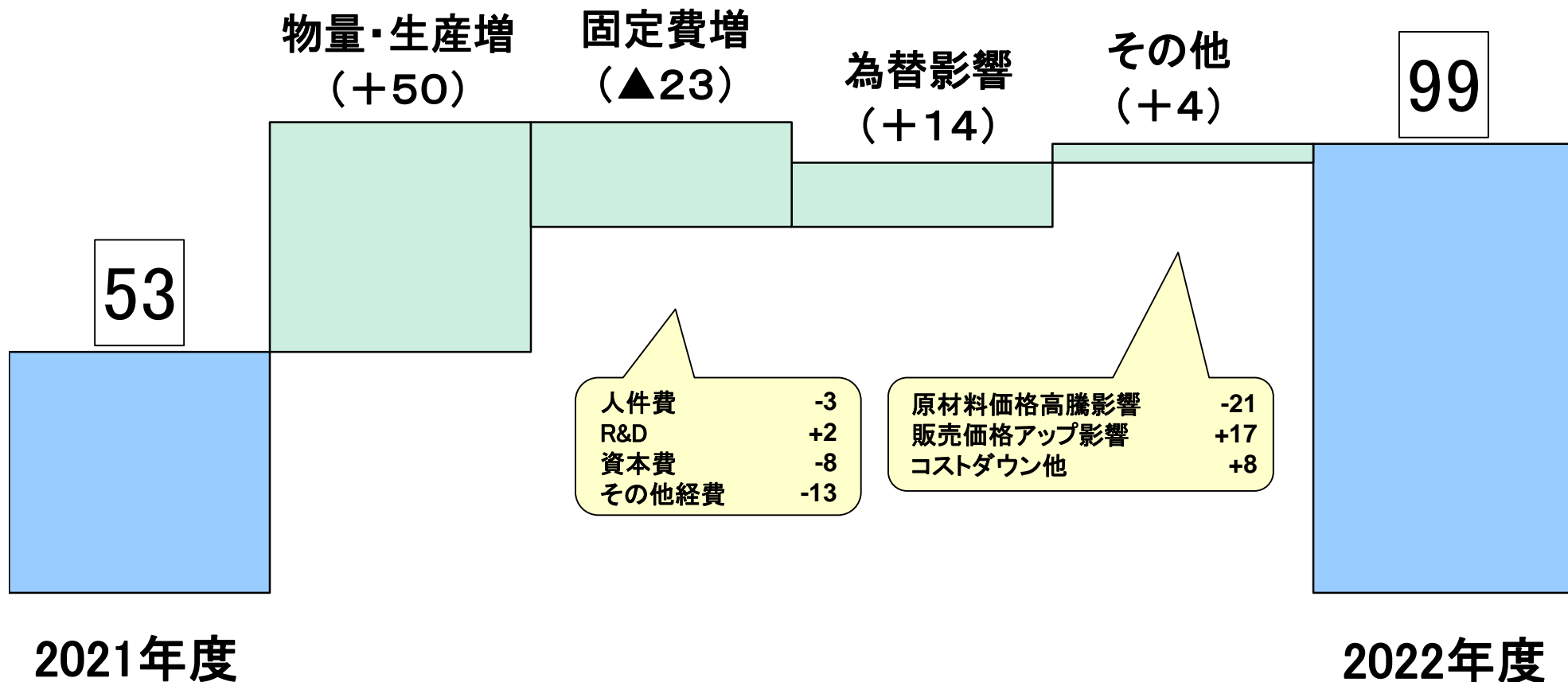
## 特別損益増減

投資有価証券売却益	+23	( 23 → 46 )
その他	-3	( -1 → -4 )
	+20	( 22 → 42 )

# 第1四半期 営業損益増減分析 (対前年)

物量増・生産増および為替影響を主因に増益  
原材料価格の高騰影響をコストダウン、販売価格アップでカバー

(単位: 億円)



## パワエレ インダストリーを除く全セグメントが増益

(単位: 億円)

	2021年度			2022年度			増減		
	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率
パワエレ エネルギー	447	10	2.2%	513	39	7.6%	65	29	5.4%
パワエレ インダストリー	653	3	0.5%	652	-18	-2.8%	-1	-22	-3.3%
半導体	445	56	12.5%	462	71	15.4%	17	15	2.9%
発電プラント	120	-7	-5.6%	168	1	0.6%	49	8	6.2%
食品流通	221	2	1.0%	217	16	7.5%	-4	14	6.6%
その他	123	5	3.8%	143	7	5.2%	20	3	1.4%
消去または全社	-110	-16	-	-115	-18	-	-6	-2	-
合計	1,900	53	2.8%	2,039	99	4.8%	140	46	2.1%

※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

# 第1四半期 セグメント別概況①(対前年)

(単位:億円)

			2021年度	2022年度	増減	概況
パワエレ	エネルギー	売上高	447	513	65 +16*	<b>エネルギーマネジメント 23%減収</b> 前年同期の電力及び産業向け変電機器の大口案件影響等により、売上高は前年同期を下回りましたが、案件差等により、営業損益は前年同期を上回りました。 <b>施設・電源システム 37%増収</b> データセンター及び半導体メーカー向け案件の需要が大幅に拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 <b>器具 15%増収</b> 工作機械をはじめとする国内の機械セットメーカーの需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
		営業損益	10	39	29 +4*	
	インダストリー	売上高	653	652	-1 +19*	<b>オートメーション 3%減収</b> 低圧インバータやFAコンポーネントを中心に、新型コロナウイルス感染拡大による中国のロックダウン影響や素材価格の高騰、部材調達難による生産影響を受け、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。 <b>社会ソリューション 16%減収</b> 船舶向けの案件が減少し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。 <b>設備工事 2%増収</b> 電気設備工事の需要が増加し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 <b>ITソリューション 18%増収</b> 民需分野の大口案件影響等により、売上高は前年同期を上回り、営業損益は案件差等により、前年同期と同水準となりました。
		営業損益	3	-18	-22 -0*	

※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

\*為替影響

# 第1四半期 セグメント別概況②(対前年)

(単位:億円)

		2021年度	2022年度	増減	概況																
半導体	売上高	445	462	17 +33*	ディスク媒体事業からの撤退影響があったものの、電気自動車(xEV)向け及び産業分野向けのパワー半導体の需要拡大により、売上高は前年同期を上回りました。その結果、パワー半導体の生産能力増強に係る費用は増加したものの、高操業維持による物量の増加により、営業損益も前年同期を上回りました。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>売上高内訳</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業</td> <td>281</td> <td>270</td> <td>-11</td> </tr> <tr> <td>ディスク媒体</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td>電装</td> <td>164</td> <td>192</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>	売上高内訳	2021年度	2022年度	増減	産業	281	270	-11	ディスク媒体	50	0	-50	電装	164	192	28
	売上高内訳	2021年度	2022年度	増減																	
産業	281	270	-11																		
ディスク媒体	50	0	-50																		
電装	164	192	28																		
	営業損益	56	71	15 +10*																	
発電プラント	売上高	120	168	49	再生可能エネルギーの大口案件影響により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。																
	営業損益	-7	1	8																	
食品流通	売上高	221	217	-4	<b>自販機 12%増収</b> 国内の需要拡大に加え、原価低減の推進等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。  <b>店舗流通 12%減収</b> 前年同期の金銭機器の大口案件影響により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。																
	営業損益	2	16	14																	

※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

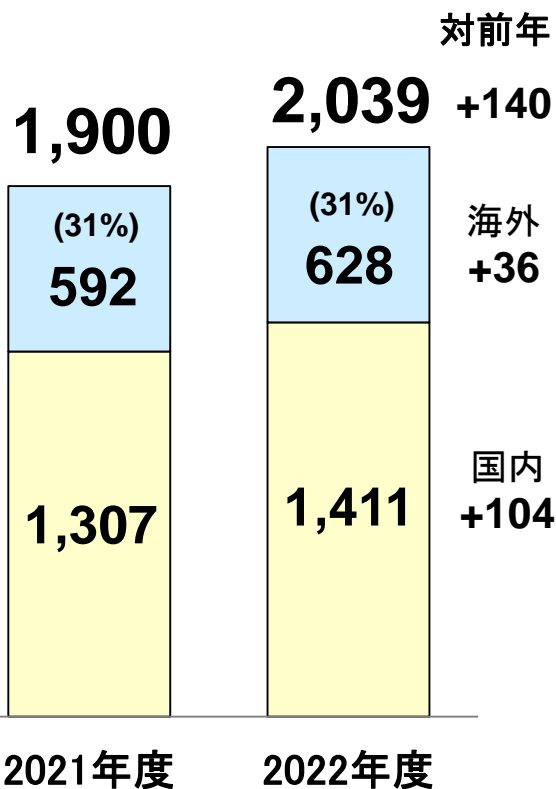
\*為替影響



# 第1四半期 国内/海外・地域別売上高 (対前年)

中国ロックダウンの影響等により中国は減収、その他の地域は増収

(単位:億円)  
( )内は海外売上高比率



(単位:億円)

	2021年度	2022年度	増減
海外	592	628	+71*
アジア他	275	298	+24*
中国	240	215	+34*
欧州	44	64	20
米州	33	51	17

\*為替影響

施設・電源システム +11  
器具 +6  
オートメーション +16  
半導体 -40  
(内、ディスク媒体 -50)  
発電プラント +34

器具 -7  
オートメーション -21  
半導体 +6

オートメーション +4  
半導体 +18

器具 +4  
オートメーション +6  
発電プラント +4

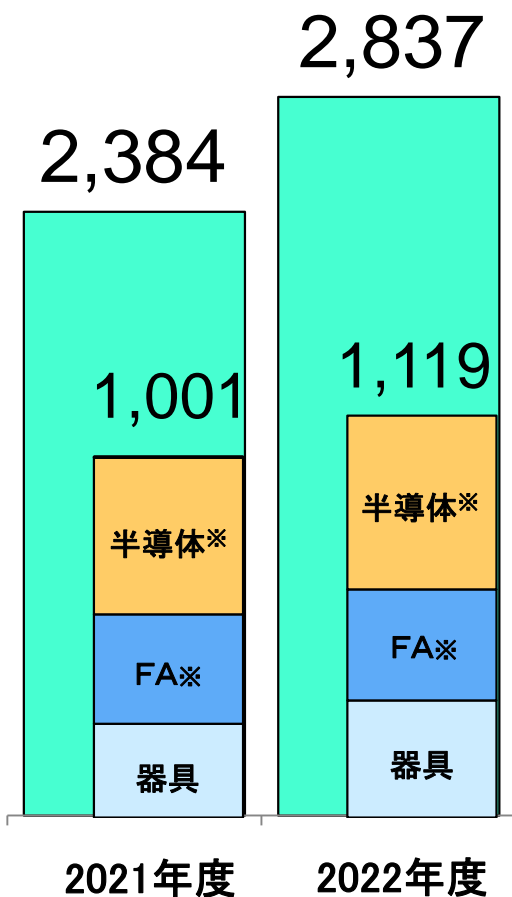
# 第1四半期 製品群別受注高 (対前年)

主要コンポーネントの受注は高水準を継続  
パワエレのプラント・システム案件の受注が好調

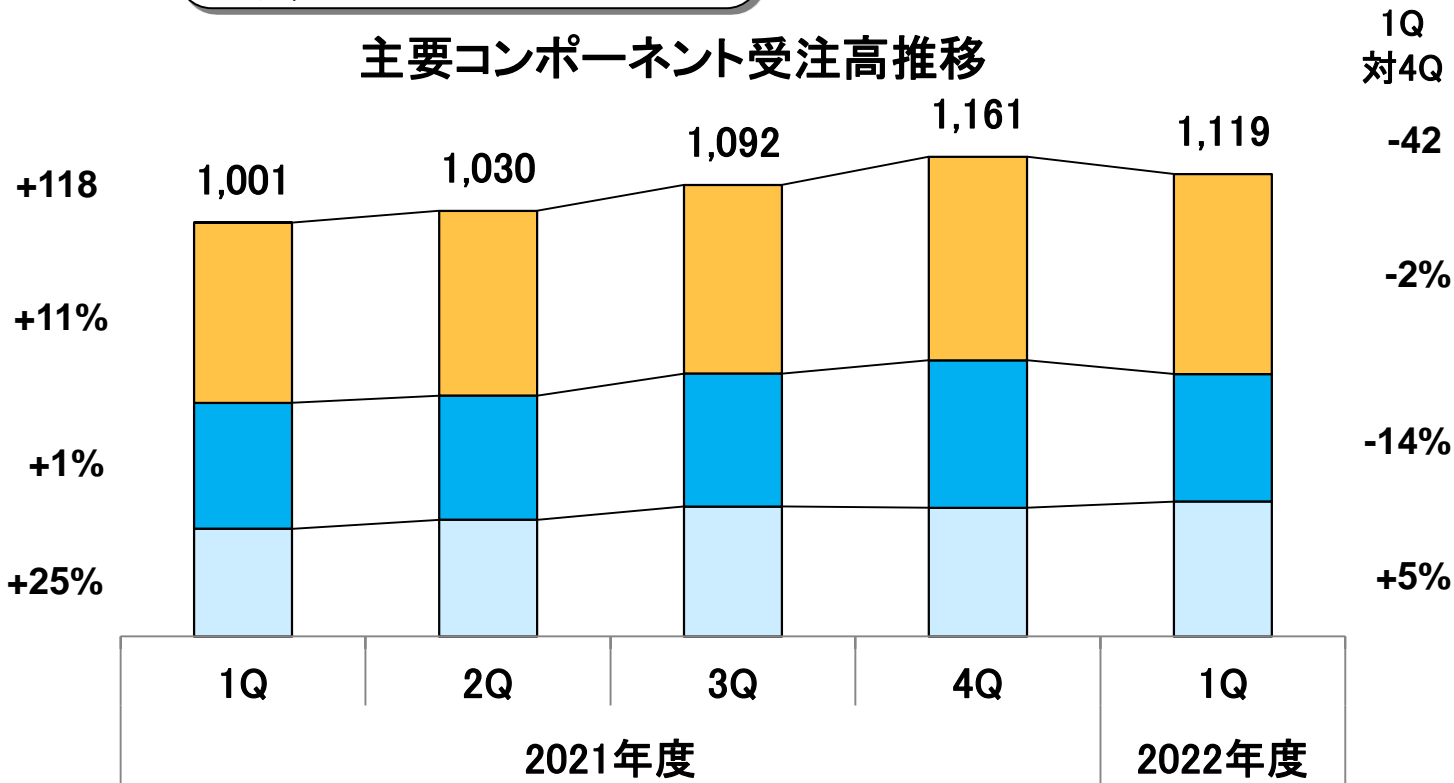
(単位: 億円)

対前年  
+453

<プラント・システム案件の増減>  
施設・電源システム +169  
エネルギーマネジメント +67  
設備工事 +40  
ITソリューション +37



主要コンポーネント受注高推移



※半導体: 産業(ディスク媒体除く)、電装  
 ※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器  
 ※2021年度実績は、2022年度の事業組替を反映し、表示しています。

# 第1四半期 製品群別売上高 (対前年)

中国ロックダウンの影響等によりパワーエレFAコンポーネントの売上が減少  
半導体、器具、プラントシステム案件の売上が増加

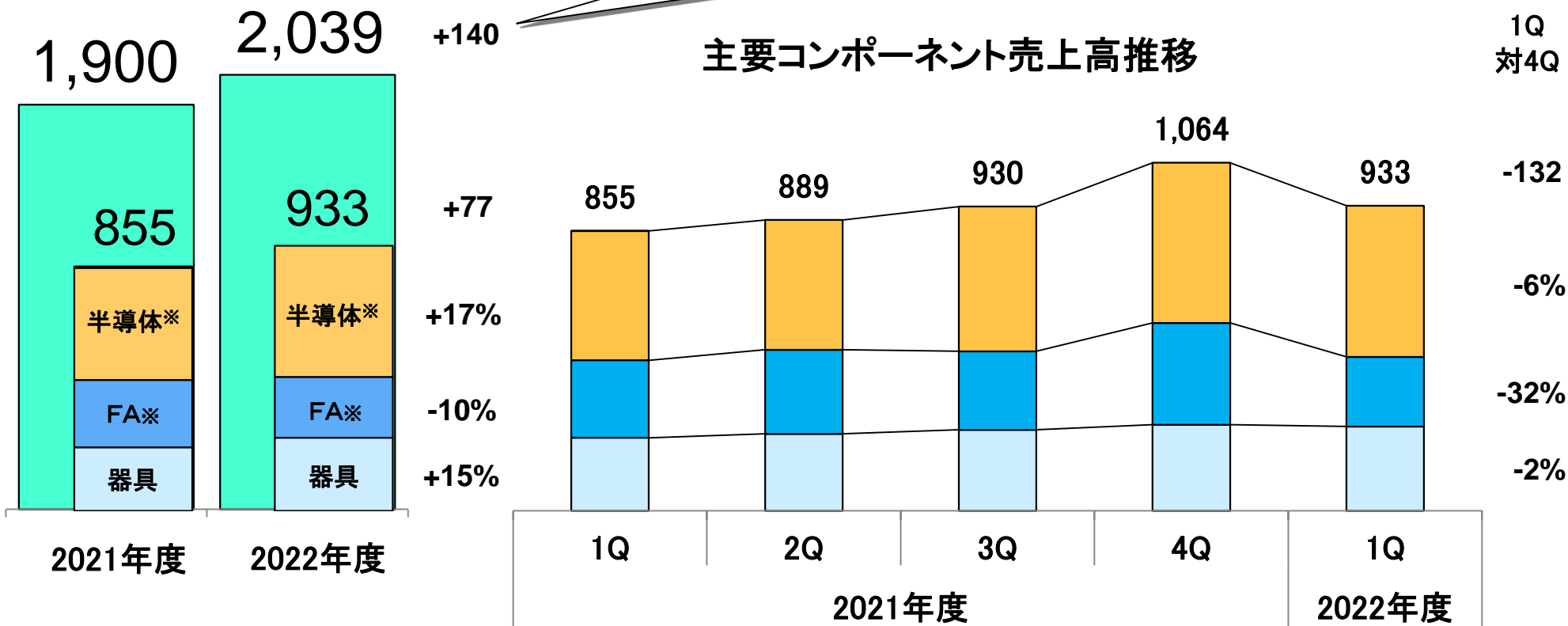
(単位: 億円)

対前年

<プラント・システム案件の増減>

施設・電源システム	+49
発電プラント	+49
ITソリューション	+20

## 主要コンポーネント売上高推移



※半導体: 産業(ディスク媒体除く)、電装

※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器

※2021年度実績は、2022年度の事業組替を反映し、表示しています。

## 2. 2022年度 業績予想 (対前年)

# 上期・通期 連結業績概要 (対前年)

上期・通期の業績予想は4/27発表予想を据え置く

(単位: 億円)

	上期		通期	
	2021年度 実績	2022年度 (7/28予想)	2021年度 実績	2022年度 (7/28予想)
売上高	3,977	4,240	9,102	9,600
営業損益	163	220	748	820
経常損益	169	220	793	830
親会社株主に帰属する 当期純損益	140	155	587	590

第2～4四半期の前提為替レート

	US\$	EURO	RMB
為替レート	¥120.00	¥133.00	¥19.00
為替感応度 (億円)	0.3	0.8	2.2

\*営業損益ベース

US\$、EUROは1円変動影響、RMBは1%変動影響

(単位: 億円)

	上期				通期			
	売上高		営業損益		売上高		営業損益	
	2021年度 実績	2022年度 (7/28予想)	2021年度 実績	2022年度 (7/28予想)	2021年度 実績	2022年度 (7/28予想)	2021年度 実績	2022年度 (7/28予想)
パワエレ エネルギー	987	1,090	42	72	2,310	2,360	212	221
パワエレ インダストリー	1,398	1,440	24	17	3,241	3,490	238	268
半導体	850	930	118	134	1,788	2,000	271	305
発電プラント	266	320	-11	0	786	820	31	41
食品流通	443	440	9	22	908	920	30	51
その他	255	260	10	11	547	540	28	26
消去または全社	-223	-240	-28	-36	-478	-530	-63	-92
合計	3,977	4,240	163	220	9,102	9,600	748	820

# 3. 貸借対照表

# 第1四半期末 連結貸借対照表 (対前年度末)

(単位: 億円)

資産の部	22/3/31	22/6/30	増減
現金及び預金	930	1,044	114
売上債権	3,573	3,051	-522
棚卸資産	1,703	1,929	226
その他	614	695	81
流動資産 計	6,820	6,719	-101
有形固定資産	2,337	2,383	46
無形固定資産	225	233	8
投資その他の資産	1,789	1,667	-122
固定資産 計	4,351	4,282	-68
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	11,171	11,002	-169
ネット有利子負債※1	1,170	969	-201
ネットD/Eレシオ※2	0.2倍	0.2倍	-0.0倍
自己資本比率	42.3%	43.5%	1.2%

負債、純資産の部	22/3/31	22/6/30	増減
買入債務	1,717	1,656	-62
有利子負債	2,084	1,996	-88
その他負債	2,132	2,064	-69
負債 合計	5,934	5,716	-218
資本金	476	476	—
資本剰余金	460	460	—
利益剰余金	3,193	3,214	21
自己株式	-74	-74	-0
株主資本	4,055	4,075	21
その他の包括利益累計額	674	713	38
非支配株主持分	508	498	-10
純資産 合計	5,237	5,286	49
負債・純資産 合計	11,171	11,002	-169

※1 ネット有利子負債：有利子負債- 現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

# 4. 補足資料



## ■器具受注高

	1Q(対前年度4Q)	1Q(対前年)
全体	+5%	+25%
国内	+4%	+32%
海外	+8%	+10%

## ■低圧インバータ受注高

	1Q(対前年度4Q)	1Q(対前年)
全体	-15%	+16%
国内	-22%	-9%
海外	-12%	+33%

## ■半導体受注高

	1Q(対前年度4Q)	1Q(対前年)
全体(ディスク媒体除く)	-2%	+11%
産業(ディスク媒体除く)	-1%	+5%
電装	-2%	+21%

## ■自販機受注高

	1Q(対前年度4Q)	1Q(対前年)
全体	-6%	+12%

※2021年度実績は、2022年度の事業組替を反映し、表示しています。

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。